

開催期日 : 2021 年 6 月 5 日(土)

開催場所 : オンライン会議

出席者: 香西会長、綾部、天野、今川各副会長、東、川端、岸本、久慈、倉持、黒子、薩本、鈴木、高橋、福地、藤井、望月、柳澤、吉川各理事、久保、高村各監事

【議案】

第 1 号議案 総務委員会(綾部副会長)

正会員 2 名の入会を承認した。

第 2 号議案 年次大会運営委員会

(1)2021 年度日本家政学会代議員総会(鈴木理事)

代議員 46 名の出席により、オンラインで開催され、第 1 号議案、第 2 号議案はすべて承認されたと報告された。

(2)名誉会員証授与式・学会賞授与式(鈴木理事)

名誉会員証、学会賞、奨励賞、功労賞を授与したことが報告された。

(3)第 73 回大会(今川副会長:大会運営委員長)

おおむね順調に進行されたことが報告され、承認した。

第 3 号議案 2022 年度第 74 回大会、および以降の総会・大会開催(望月理事、香西会長)

第 74 回大会もオンライン開催する等の準備状況が報告され、75 回大会は関東支部、76 回大会は中部支部が担当することを承認した。

第 4 号議案 2021 年度(新)第 5 回家政学夏季セミナー(今川副会長)

9 月 13 日(月)オンライン開催すること、午前の基調講演のみ一般公開とすることを承認した。

第 5 号議案 新年度の課題

(1)会長・副会長(香西会長、綾部・天野・今川副会長)

今年度もオンライン会議とし、学会運営に引き続き協力をお願いしたい。

(2)総務委員会(綾部副会長、鈴木理事、柳澤理事)

会員管理、規程等集の整備、総会の運営等に取り組むことが報告された。

(3)財務委員会(天野副会長、東理事)

会員が減少している現状が報告され、本部会計節約と、会員増加への協力を仰ぎたい。

(4)企画・広報委員会(今川副会長)

1)今年度大会の課題を解決していきたい。

2)家政学夏季セミナーの次年度の計画を進めたい。

3)情報管理委員会(福地理事・薩本理事)

学会 HP の見直しを行い、より一層見やすくしたい。

4)活動助成、支部活動活性化サポート(今川副会長)

活動助成費の減額をさらに進めることを承認した。

5)部会長の交代(今川副会長)

児童学部会、被服整理学部会の部会長交代を承認した。

(6)編集委員会(吉川理事、藤井理事)

学会誌への投稿数は増えている。課題も多いが会員確保のためにも学会誌をより充実させたい。

(7)刊行委員会(今川副会長)

4 月に住まいの百科事典を刊行した。次は食分野の刊行を検討している。

(8)学会賞選考、功労賞推薦委員会(綾部副会長)

理事からの推薦や協力を依頼したい。

(9)家庭生活アドバイザー資格認定委員会(天野副会長)

資格取得者を一層増やしたい。資格有効期限5年の制度運用の検討を行いたい。

(10)東日本大震災生活研究プロジェクト(天野副会長)

成果を取りまとめ、来年成果物を残す予定である。

第 6 号議案 役員選出(香西会長)

(1)代議員及び理事候補者選出

各支部に選出スケジュールの提出を依頼した。

(2)役員選出

会長・副会長・監事の被選挙人候補者の決定にあたり、本人承諾の事前実施について継続審議となった。

第 7 号議案 その他

(1)協賛依頼等(綾部副会長)

3 件の協賛、1 件の後援依頼が報告され、承認した。

(2)その他(今川副会長)

第 73 回大会の種々の課題についての報告がなされ検討を行い、継続審議となった。

【報告】

報告事項 1 退会申出者・会員現況報告(綾部副会長)

5 月末日付けの会員動向が報告された。

報告事項 2 支部関係(各支部長)

各支部の活動報告及び活動計画等が報告された。

報告事項 6 情報管理委員会(福地理事)

学会HPで「家政学文献索引データベース」のダウンロードサービスを開始と国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)の報告があった。

報告事項 7 国際交流委員会(倉持理事)

大会での若手の会との共催セミナーについて報告された。

報告事項 8 編集委員会(吉川理事)

次回編集委員会で、若手ポスター賞を決定すると報告された。

報告事項 9 家庭生活アドバイザー資格認定委員会(天野副会長)

今年度研修会はオンラインで9月に実施する。

報告事項 11 生活科学系コンソーシアム(藤井理事)

第 10 回シンポジウムは 12 月開催予定と報告された。

報告事項 12 生活やものづくりの学びネットワーク(薩本理事)

公開シンポジウムは 9 月実施予定と報告された。